



報道発表資料の配付日時 2月19日(金) 11時00分

発表項目 (行事名)	第48回北海道議会議場コンサートについて		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>日時 令和3年2月25日(木) 12時15分から12時45分(予定)</p> <p>場所 北海道議会議事堂 本会議場</p> <p>出演者 公益財団法人 札幌交響楽団メンバーによる弦楽四重奏 (ヴァイolin) 桐原 宗生、(ヴァイolin) 赤間 さゆら、 (ヴァイola) 青木 晃一、(チェロ) 猿渡 輔</p> <p>内容 本コンサートは、道議会議員の音楽愛好者で組織している北海道議会文化・音楽議員連盟の提唱により、平成6年から開催し、今回で48回目を迎えます。</p> <p>今回は、今年創立60年を迎える札幌交響楽団メンバーによる弦楽四重奏をお楽しみいただきます。</p> <p>入場は無料ですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、席数を95席としています。希望者は、当日、受付で検温等の確認後、入場整理券の交付を受けてください。なお、詳細は別添実施要領等のとおりです。また、当日はインターネットでライブ配信する予定です。(http://www.gikai.pref.hokkaido.lg.jp/cyukei/)</p>		
参考	新型コロナウイルス感染症対策のため、発熱等の風邪症状がある方は入場ができないこと、席数が限られており、インターネットによるライブ配信することの事前報道について、特段のご配慮をお願いします。		

報道(取材)に当たってのお願い	公演中の取材・撮影にあたっては、報道席でお願いするとともに、シャッター音が演奏及び鑑賞の妨げにならないようご配慮願います。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	北海道議会事務局総務部総務課総務係(担当者:中村、小林) TEL ダイヤルイン 011-204-5682 内線 33-221		
-------------	--	--	--

## 第48回北海道議会議場コンサート実施要領

### 1 趣旨

本道における芸術・文化の振興に寄与するとともに、道民に親しまれる議会づくりを進めるため

### 2 主催

北海道議会

### 3 開催日時

第1回定例会開会日 12時15分から12時45分まで  
(2月25日予定)

### 4 開催場所

北海道議会議事堂

### 5 公演団体

札幌交響楽団メンバーによる  
弦楽四重奏(4名)

### 6 演奏曲目

- ・弦楽四重奏曲第77番ハ長調「皇帝」より第1楽章、第2楽章・・・ハイドン
- ・Shall We Dance?・・・ロジャース
- ・エトピリカ・・・葉加瀬 太郎
- ・真田丸のテーマ・・・服部 隆之

### 7 札幌交響楽団について

札幌交響楽団は1961年に発足し、今年で創立60年を迎え、北海道唯一のプロ・オーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれています。年間の公演回数は道内外で120回を超え、海外においてもヨーロッパツアー、台湾4大都市での5公演を成功させています。常に多くの道民・市民に愛されるオーケストラを目指し、北海道から世界に発信する活動を展開しています。

### 8 新型コロナウイルス感染防止対策について

「新北海道スタイル」、「新しい生活スタイル」及び「音楽コンサートにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」等に基づき、観客の入場を制限するなど感染防止措置を講ずる。

また、インターネット中継による生配信、共聴テレビによる放送を実施する。

#### <感染の防止措置>

- ・ 議員席及び執行部席から鑑賞できるように  
出演者と観客席との十分な距離の確保
- ・ 出演者間の身体的距離2m(最低1m又はアクリル板)を確保
- ・ 観客はマスクを着用し大声(歓声・声援を含む)を出さない
- ・ 出演者や観客は検温を実施  など

## 議場コンサートの開催にあたって

議場コンサートは、道議会議員の文化・音楽愛好家で組織している北海道議会文化・音楽議員連盟の提唱により、平成6年に初めて開催して以来、今回で48回を迎えました。

新型コロナウイルスの感染防止対策を行い開催することとなりますが、この議場コンサートを契機に議会がより身近なものとなり、本道における芸術・文化の振興に少しでも寄与できることを願っております。

本日は、札幌交響楽団メンバーによる弦楽四重奏の演奏をお楽しみいただきます。

プロフェッショナルによる華麗な演奏をごゆっくりご堪能ください。

### 札幌交響楽団からのメッセージ

本日は議場コンサートへようこそおいでくださいました。

「札幌」の愛称で親しまれている札幌交響楽団は、北海道唯一のプロ・オーケストラです。例年、道内外で約120回のオーケストラ公演のほか、教育福祉目的のアンサンブルコンサートも数多く行っています。

1961年の発足以来、みなさまのご支援・ご声援を頂き、今年創立60周年を迎えます。これからも、より多くの道民・市民に愛されるオーケストラを目指し、音楽を通して北海道を元気にしていく活動を展開して参ります。

演奏及び鑑賞の妨げとなる場合がありますので、携帯電話の電源はお切りください。  
また、客席から歓声や応援など大声を出さないようお願いします。

## 第48回

# 北海道議会 議場コンサート



日時 令和3年2月25日(木) 12時15分開演

場所 北海道議会議場

主催 北海道議会

出演 札幌交響楽団メンバーによる弦楽四重奏

(12時10分までに着席ください。)  
インターネット(<http://www.gikai.pref.hokkaido.lg.jp/cyukei/>)で生配信します。

## 講場コンサート 出演者プロフィール

### 桐原宗生(ヴァイオリン) Souki Kirihara, Violin

鹿児島県出身。3才よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て桐朋学園大学音楽学部にて学ぶ。在学中、N響アカデミー、小澤国際室内楽アカデミー、PMF、サントリー室内楽アカデミー、プロジェクトQ等に参加し、アンサンブルの研鑽を積む。第64回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第2位。第31回鹿児島県新人演奏会にて最高位(県知事賞)受賞。2015年9月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の第2ヴァイオリン首席奏者を務めるほか、群馬交響楽団にコンサートマスター、広島交響楽団、札幌交響楽団に首席奏者として客演。これまでにヴァイオリンを中島三幾、堀正文、久保良治各氏に師事。2019年5月札幌交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者に就任。



### 赤間さゆら(ヴァイオリン) Sayura Akama, Violin

旭川市生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。その後桐朋学園オーケストラアカデミーに在籍、修了。これまでにヴァイオリンを中川正子、片山淑子、大森潤子、清水高師の各氏に師事。2008年、北海道毎日学生音楽コンクール課題曲コース中学校の部にて2位受賞。2011年、旭川新人音楽会オーディションにて旭川市新人音楽賞受賞。同年、第12回大阪国際コンクール全国大会入選。同年、第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。2015年、第17回日本演奏家コンクールにて特別賞、協会賞受賞。2017年、第23回おきでんシュガーホール新人演奏会オーディションにてグランプリ受賞。2017年第17回MMCJ(ミュージック・マスター・コース・ジャパン)に参加。2018年9月1日に札幌交響楽団に入団。



### 青木晃一(ヴィオラ) Koichi Aoki, Viola

兵庫県姫路市出身。桐朋学園大学、ケルン音楽大学、同大学院修士課程に学ぶ。モンペリエほか国際音楽祭に多数参加。ハイリゲンベルク国際音楽祭で最優秀演奏家賞を受賞、ハンゼン財団より名号サルトリを1年間貸与される。デュッセルドルフ響、アーヘン響副首席奏者、南ウエストファリア・フィル及びプファルツ歌劇場管で客演首席奏者を務めたほか、ドイツを中心にソリスト、室内楽奏者として活躍。2011年、創立50周年でヨーロッパを訪れた札幌を知り、同年秋のオーディションを受験。2012年5月に札幌交響楽団入団、2013年5月から副首席奏者を務める。



### 猿渡 輔 (チェロ) Tasuku Saruwatari, Violoncello

東京音楽大学、同大学大学院科目等履修弦楽器研究科を修了。サントリーホール主催「レインボー21デビューコンサート」、チェロコンgres in ジャパン等に出演。2013年、日本演奏連盟の新人演奏家オーケストラプロジェクトにて、札幌交響楽団とドヴォルジャークのチェロ協奏曲で共演。チェロを佐久間豊春、堀了介、ドミトリー・フェイゲン、岩崎浩の各氏に師事。室内楽を大野かおる、河合訓子、堀了介の各氏に師事。マスタークラスでは毛利伯郎、チャバ・オンツァイ、ルトヴィート・カンタ、ピーター・ウイスベルウエイの各氏に学ぶ。2008年11月に札幌交響楽団に入団、2014年6月より副首席奏者を務める。



## ◆ プ ロ グ ラ ム ◆

### ●ハイドン/弦楽四重奏曲第77番ハ長調「皇帝」より

第1楽章 Allegro 第2楽章 Poco Adagio, Cantabile

ハイドンの弦楽四重奏曲の中でも最も有名なもののひとつです。第2楽章が、ハイドン自作の「オーストリア皇帝賛歌」の主題による変奏曲であるため、この副題ついています。「神よ、皇帝フランツを守り給え」(Gott erhalte Franz den Kaiser)とも呼ばれるこのメロディーは、その後数多くの讃美歌やクラシック音楽の中で用いられ、またドイツの国歌『ドイツの歌』として転用されています。

本日は第1楽章、第2楽章をお聴き頂きます。

### ●ロジャース/Shall We Dance?

1951年初演のミュージカル「王様と私」の楽曲です。「踊りませんか」の意味の題名通り、アンナと王様によるポルカのダンス・シーンで有名です。

1996年に公開された周防正行監督の日本映画「Shall We ダンス?」はこの曲からタイトルがとられ、大貫妙子によるカバー曲が主題歌となっています。

### ●葉加瀬太郎/エトピリカ

葉加瀬太郎は、1990年KRYZLER&KOMPANYの中心的メンバーとしてデビュー。96年に解散後ソロでの活動を開始、様々なジャンルのアーティストとのコラボレーションも数多く、年を追うごとに支持層も拡大しているヴァイオリニストです。

「エトピリカ」は、TBS系『情熱大陸』のエンディング・テーマとしてお馴染みのナンバーです。曲名は北海道に生息する「美しい鼻」の意味を持つ、鳥の名前のこと。札幌交響楽団のマスコットキャラクター“ピリッキー”もこの鳥がモデルとなっています。



### ●服部隆之/真田丸のテーマ

2016年のNHK大河ドラマ「真田丸」のテーマ曲です。圧倒的な印象を残すヴァイオリンソロを全編にフューチャーしたテーマ曲も話題になりました。

作曲者の服部隆之は、パリ国立高等音楽院を修了し、1988年に帰国後、ポップスからクラシックまで幅広いアーティストのアルバム、コンサート等の編曲を手がけています。また、映画やテレビドラマ、舞台作品やゲーム音楽等、多岐にわたる音楽ジャンルで作曲家として活躍しています。